

流行性角結膜炎とRSウイルス感染症に注意しましょう!

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	→ 0	0	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 37	35	ヘルパンギーナ	↗ 73	61
咽頭結膜熱	↘ 9	14	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 24	28
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 51	31	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 309	257	流行性角結膜炎(はやり目)	↘ 67	78
水痘	↘ 4	6	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↗ 187	172	無菌性髄膜炎	↘ 1	3
伝染性紅斑(りんご病)	↗ 48	37	マイコプラズマ肺炎	↘ 4	9
突発性発しん	↗ 39	35	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロウイルス)	→ 0	0

報告が多い感染症
 感染性胃腸炎
 手足口病
 ヘルパンギーナ

大きな流行が発生又は継続しつつある地域
 手足口病 : 菊池、山鹿、熊本市、天草、人吉
 伝染性紅斑 : 人吉、八代
 ヘルパンギーナ : 天草
 流行性角結膜炎 : 熊本市

保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロウイルス)	
熊本市保健所		6	5	20	52	3	79	7	13		16	1		63					3	
山鹿保健所				1	27		10		3		4	2	*	*						
菊池保健所		6	2	8	66		44	6	7		21	4		2						
阿蘇保健所				1	2								*	*						
御船保健所					17		3				3		*	*						
八代保健所		3	1	2	31		4	14	1		2									
水俣保健所					6		3		1		2	2	*	*		1				
人吉保健所				2	21	1	9	6	4		2	8	*	*			1			
有明保健所		8		7	45		15	6	6		2	7		1						
宇城保健所		9	1	2	31		6	6	3		10		*	*						
天草保健所		5		8	11		14	3	1		11			1						
計	0	37	9	51	309	4	187	48	39	0	73	24	0	67	0	1	4	0	0	0

年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	37	2	5	23	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0							
咽頭結膜熱	9	0	1	4	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	0	0	0	5	9	7	6	5	4	0	1	11	0	3							
感染性胃腸炎	309	4	23	45	37	26	26	18	18	10	11	13	51	9	18							
水痘	4	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0							
手足口病	187	1	29	91	35	9	8	3	4	2	0	0	1	0	4							
伝染性紅斑	48	0	0	4	3	7	13	4	6	4	2	3	1	0	1							
突発性発しん	39	1	18	18	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
ヘルパンギーナ	73	0	16	25	11	10	5	2	0	2	0	0	0	0	2							
流行性耳下腺炎	24	0	0	2	2	4	1	4	2	4	0	1	1	1	2							
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	67	3	2	3	2	4	3	2	1	3	3	0	4	2	3	12	4	7	8	1		
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	4	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
感染性胃腸炎(ロウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					

流行性角結膜炎(はやり目)に引き続き注意してください

今週の報告数は67件で、先週(8/24~8/30)の週に比べ減少しています。保健所別では、熊本市が警報レベルを超えています。年齢別では、30~39歳が全体の17.9%、0~5歳は28.4%を占めています。

RSウイルス感染症に注意しましょう

RSウイルス感染症は、先週(8/24~8/30)に引き続き増加しています。RSウイルス感染症は、乳児が感染する感染症で、生後1歳までに半数以上が、2歳までにすべての小児が感染するといわれています。特に、生後6か月以内の乳児がRSウイルスに初めてかかった場合、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を起こすことがありますので、生後6か月以内の乳幼児は、感染しないように注意しましょう。

【症状】
 鼻水、咳、発熱などいわゆる「かぜ」のような症状がみられ、1~2週間で軽快するといわれています。多くは軽症で済みますが、重くなる場合には、咳がひどくなる、喘鳴が出る、呼吸困難などの症状が見られ、場合によっては、細気管支炎、肺炎を起こすとされています。特に、生後6ヶ月以内の乳児が初めて感染した場合、重症化する場合がありますといわれています。

【予防策】
 ・流行期には赤ちゃんを人ごみに連れて行かない。
 ・症状のある家族はマスクをする。
 ・外出後の手洗いをきちんと行う。
 ・子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはアルコールや塩素系の消毒剤で消毒する。